

平成 31 年（令和元年）度 事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 リアル・リンク京都

1. 事業の成果

「リアル・リンク」は真に喜びに溢れた繋がりを生み出す地域貢献型の法人で、『環境・福祉・教育・政経の相乗』を合言葉に、ご利用者の喜びがご家族や職員の喜びとなり、その喜びが地域社会を活性化させ、地域社会・ご利用者・職員の好循環を生み出すことを目標に活動し、今年度で発足 26 年となった。

収益事業の中核をなす介護福祉部門は創業 7 年目に入り、前年度事業報告書のとおり、今年度 4 月より居宅介護・訪問介護事業が関連法人へ統合され、残る通所介護・入所介護事業の 3 施設でのスタートとなり、既存の 2 施設は更なる収益の増加や人材の確保・育成、業務の改善を、また開設 2 年目となる新しい施設は本格的な稼働を目指した。加えて設備更新した貸館サービスのご利用の更なる増加により業績の改善を見込んだ。

しかし、介護福祉部門の 5 年目に入った施設では、深刻な人員不足により思うようにご利用を受け入れられなかったこと、また年度終盤の新型コロナウイルスの影響により、ご利用の自粛も重なったこともあり、大幅に業績が落ち込んだ。また貸館サービスについても年度終盤の新型コロナウイルスの影響を受け、利用キャンセルが相次いだために大幅に減速した。

一方、今年度は人材確保のひとつの手段としての社員寮を計画通りに開設でき、職員や外国人技能実習生の採用など幅広く雇用を創出するための基盤が作れたため、外国人技能実習生受け入れの視察や面接を重ね、次年度夏頃の入職、入寮に向けて手続きを進めることができた。

次年度は新しい経営陣の参画もあるため、各施設ごとに明確な収益目標を掲げ、職場の透明性・公平性を確保するため職員評価制度を導入し職場環境を整えることにより、職員の定着を図るなど新しい取り組みのもと、業績改善に取り組む。

非収益事業においては、例年通りの活動であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月 1 日以降の活動は中止とした。

以下に各事業からの詳細報告を記載する。

■ 収益事業部門

1. 紫明会館デイサービス（通所介護事業）

出産育児休暇や病欠により長期休職する職員が相次ぎ、前年度以上に職員の確保は困難であったため派遣職員に頼らざるを得ない状況であったこともあり、1 階資料室を多目的ルームとしてレクリエーション活動で活用する計画は中止となった。

前年度のご利用登録者数 51 名から今年度は 63 名と目標に掲げていたが、人員不足や年度末に起こった新型コロナウイルスによるご利用の自粛の影響もあり、結果 60 名とあと一歩及ばずとなったが、開設以来、積極的な外出イベントを実施してきたことの評価を各居宅介護支援事業所よりいただき、「楽しいデイサービスを望んでおられるから紫明を紹介したい」とご利用者の紹介やお問い合わせは継続的にあるため、次年度もイベント・レ

クリエイションに積極的に取り組み、かつ一人一人の思いやニーズに柔軟に対応できるような選ばれるデイサービスを目指す。

また新たな経営陣の体制のもと明確な収益目標や新たな基盤作りの年度とする。

2. 走和の郷（グループホーム・小規模多機能型居宅介護事業）

グループホームに関しては昨年度後半より満床 25 室とはならず、今年度も深刻な人員不足により、ご利用者の ADL や病状の悪化への対応が困難になる等の理由から満床には至らなかった。一方、小規模多機能型居宅介護は前年度からご利用登録者数が 10 名に届かないことも多く、今年度も通い定員 12 名を目標にしていたが、人員不足に加え、年度末に起こった新型コロナウイルスの影響によるご利用の自粛もあり、前年度同様に低迷している。

地域交流スペースの活用については、前年度同様に使用目的が地域の活性化につながるものとして、社会福祉協議会、スカイセンター、右京区予防推進センター、地域包括支援センター、自治連合会等に定期的に利用してもらい、各団体から発信してもらうことにより地域での信頼を引き続き得ることができたが、年度末の新型コロナウイルスの影響によりしばらくご利用は休止されていた。

次年度に向けては、新たな管理体制を敷き、新たな経営陣のもと明確な収益目標や基盤作りの年度とする。

3. 柏野の郷（グループホーム・小規模多機能型居宅介護事業）

開設 2 年目に入り本格的に稼働を始め、グループホームに関しては昨年度末からの満床 18 室を維持することができた。一方、小規模多機能型居宅介護は通い定員 14 名を目標とし積極的に営業活動を行なってきたが、人員不足の影響が大きく、結果 7~9 名の推移に留まった。また年度末に起こった新型コロナウイルスの影響によるご利用の自粛も少なからずあった。

一方、本年度も地域行事への参加が積極的に行えたため、地域との相互理解をより深めることができ、小学校校庭での盆踊りやお花見、町内の地蔵盆や敬老会にも参加できた。地域交流スペースの利用に関しても、ご家族・ご利用者や町内会長、地域包括支援センター職員が参加する地域運営推進会議の場として活用でき、次年度に向けてさらに各種催しにご活用いただけるようご案内ができた。

また目標に掲げていた後任の育成にも取り組んできたため、次年度には後任への管理者交代も視野に、新たな経営陣の体制のもと明確な収益目標や新たな基盤作りの年度とする。

4. 紫明会館（貸館サービス）

施設の更なる利用向上を目指して耐震補強工事及び空調照明設備の大規模改修工事を実施したことで利便性も向上し、昨年度から引き続き定期的・継続的にご利用いただく方や映画・ドラマ等の撮影にもご利用いただく等、近隣地域だけでなく他府県からの認知度も高まり、月ごとの対比では、稼働率のアップにより収入を増やした月が多かった。しかし新型コロナウイルスの影響により、3 月以降の貸館はほぼすべてがキャンセルとなり、しばらくは厳しい状況が続くことが予想される。次年度は感染症対策にも考慮した貸館サービスの提供が求められるため、無観客ライブ・劇の利用拡大など、積極的に検討していく。

■ 非収益事業部門

1. ふエコ（子育て支援・環境教育事業）

環境保護活動では引き続き啓発活動に取り組んだ。

子育て支援・環境教育事業「ふエコ」では、幼児・児童とその保護者および関係者を対象に、京都府下一円およびその近隣地域の保育所、幼稚園、子育てサークル、地域のサークルなどにスタッフが訪問して活動を行った。遊びを通しての環境教育の導入は、地球環境保全への関心の喚起と普及に貢献するものと考え。また、子どもへの啓発活動は、家庭や地域への波及効果も大きく、子どものみならず大人への啓発にもつながると考える。子どもがもっと自然を好きになるために本事業は子どもの心を育てることに貢献したと考える。

今年度は年度末に起こった新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年3月1日以降の活動は中止とした。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
各種企業、団体、個人に対する啓発活動を通し、環境保全を推進する事業	・環境教育・子育て支援事業「ふエコ」活動内容は別紙のとおり	H31/4/1 ～ R2/3/31	京都府下一円及びその近隣地域	4名	220名	
介護保険法に基づく通所介護事業、介護予防通所介護事業、認知症対応型共同生活介護事業、小規模多機能型居宅介護事業	①通所介護事業 介護予防通所介護事業	H31/4/1 ～ R2/3/31	北区 上京区 中京区 左京区	18名	622名	
	②認知症対応型共同生活介護事業 介護予防認知症対応型生活介護事業	H31/4/1 ～ R2/3/31	右京区	26名	239名	
	③小規模多機能型居宅介護事業 介護予防小規模多機能型居宅介護事業	H31/4/1 ～ R2/3/31	右京区	8名	77名	
	④認知症対応型共同生活介護事業 介護予防認知症対応型生活介護事業	H31/4/1 ～ R2/3/31	北区 上京区 右京区	14名	205名	
	⑤小規模多機能型居宅介護事業	H31/4/1 ～	北区 上京区	6名	89名	

	介護予防小規模多機能型 居宅介護事業	R2/3/31				
その他の事業 に係る貸館事 業	講演会・イベント等の貸 し出し	H31/4/1 ～ R2/3/31	紫明会館	2名	72名	

子育て支援・環境教育事業「ぷエコ」 平成31年（令和元年）度 活動報告

年月日	対象	場所	参加者 数	内 容
R01/05/23	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児・保護者	野外活動 (東海自然 歩道)	45名	ウォーキング 自然散策
R01/08/03	親子ふれあい体験事業 幼児・小学生 親子	向日市民 体育館	30名	牛乳パックが 大変身
R01/08/18	地藏盆 幼児・小学生 親子	町内会	10名	牛乳パックが 大変身
R01/09/19	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児・保護者	野外活動 (東海自然 歩道)	45名	ウォーキング 自然散策
R01/11/21	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児・保護者	野外活動 (東海自然 歩道)	45名	ウォーキング 自然散策
R02/02/27	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児	野外活動 (東海自然 歩道)	45名	ウォーキング 自然散策
R02/03/05	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 4・5歳児	野外活動 (東海自然 歩道)	0名	ウォーキング 自然散策